

トップニュース えちぜん鉄道部分運行開始/開業イベントに参加

平成15年7月20日。この日、えちぜん鉄道の勝山永平寺線（旧越前本線）福井—永平寺口（旧東古市）間、及び三国芦原線 福井口—西長田間が運行を開始、京福電鉄の運行停止より実に2年1ヶ月ぶりに、沿線の方々の悲願だった電車の営業運転再開が実現しました。

20日の運行開始に先立つ19日、えちぜん鉄道では各会場において開業イベントを実施。150円で電車乗り放題という企画もあり、多くの電車が超満員になるなどイベントは大いに盛り上がりました。

ROBAの会はえちぜん鉄道からの依頼でえちぜん鉄道の電車の模型を出展、会場に出現した小さな



米沢電鉄も運行開始！

“まち”を走るえちぜん鉄道の電車に子供たちは大喜び。こちらでも大いに賑わいました。「将来、この子達が鉄道を支える輪に加わってくれるにちがいない。」そんな期待を抱かせる、実にいい光景でした。なお、模型の制作から当日の運転まで、米沢会員が大活躍してくださいました。当日イベントのお手伝いに参加したROBA会員は13名、急遽、ブースをいただいて会場で販売した「のりのりマップ」は55部売れ、イベント来場者のマップへの関心の高さをうかがわせました。（文・清水）

活動報告

- 6月28日 夏のROBAツアー2003
- 7月8日 NPO分科会
- 7月9日 まちづくり懇談会 第十回
- 7月11日 電車分科会
- 7月15日 7月作業部会
- 7月19日 えちぜん鉄道運行再開イベント
- 7月19日 シンポジウム企画委員会
- 7月20日 えちぜん鉄道部分運行再開
【福井—永平寺口・西長田】
- 7月22日 市民活動セミナー準備会議
- 7月23日 電車分科会
- 7月24日 まちづくり懇談会 第十一回
- 7月25日 7月例会

今後の予定

- 7月26日(土) シンポジウム企画委員会
- 7月29日(火) バス分科会
- 8月5日(火) NPO分科会
- 8月10日(日) えちぜん鉄道
三国芦原線運行開始
- 8月12日(火) 8月作業部会(各分科会・連絡会)
- 8月22日(金) 8月例会
- 8月 随時 電車分科会他 各分科会
- 8月 随時 シンポジウム企画委員会
- 8月 随時 市民活動セミナー準備会議

ゆうじんの部屋 書籍紹介

「環境危機をあきらめてはいけない!」地球環境のホントの姿

ビョルン・ロンボルグ著、山形浩生訳

文芸春秋 4500円+税

レスターRブランドの地球白書は版を重ね、森林の減少、地球温暖化など、これでもかこれでもかと地球環境の破壊を紹介している。この本はそれや、他の地球環境本のデータ引用の不正確さを指摘し、地球環境の正確なデータを提供することに力を注いでいる。少なくとも枯渇性資源の問題は市場原理が解決する。

しかし、地球温暖化問題だけはこの本も問題ではないとは言っていない。この本を読んで、もう一度地球環境問題の現状と、地球環境問題とは何かを問い直すことは、重要である。稲田敦氏の割り箸、牛乳パック論争のように、本質に迫る議論が呼び起こされることを期待する。（文・美濃部）

アースデイに参加しました!

今年は統一選挙があったため、例年より約1ヶ月遅く開催されました。梅雨の真っ只中で天気が心配されましたが、太陽キラキラのとても暑い一日でした。

(お昼前には、やばい雲がやってきましたが大丈夫だったみたい)

それではアースデイの内容を紹介します。

- 開日 時 6月21日(土) 10:00~18:00
- 会場 所 アップルロード(100年時計付近)
- 参加者 五十嵐、内田、川口、岸本、坂川、佐藤、清水、高橋、谷村、野嶋、野田、畑、林照、林惇、松田(米沢さんの友人)、三村、米沢
- 展示内容 LRVや環境についてのパネル(毎度お馴染み)、のりのりマップの販売、鉄道模型、LRV等のビデオ上映

<パネル展示&のりのりマップ>



道路の真ん中に机を出して、マップを展示販売しました。

パネルの並べ方をゆっくり自由に見られるようにしたので、想いのほか色々な人がじっと見ていました。(ROBAの独逸場でした。)

<ゴミ分別のPR>



福井市の環境展のPRにやってきました!「分けるンジャー」

ゴミの分別は奥が深いなーと実感しました。リサイクルって大変なんですね。

<模型電車が今年も走る>



今年もやはり子供たちは模型に張り付きっぱなし。家族で、おばあちゃん、外国人の人も…

みんながじっと見ていました。つい盛りたくなるのは、子供も大人も一緒ですね。米沢さんと松田さん、毎年ご苦労様です。

※福井の人は模型の中に福鉄電線があるとは気付かないらしい

<えちぜん鉄道さん>



今年のアースデイ、隣でえちぜん鉄道さんが一生懸命に宣伝をしてました。

記念チケットやグッズの販売を最後の最後まで、力いっぱい宣伝でした。

(文 高橋 はた)

福井鉄道福武線活性化検討協議会（第5回）報告

ROBAの会会長 内田桂嗣

（日時）平成15年6月25日14:00～16:00 （於）県民会館306号室

1. 出席者

会長	福井県県民生活部長	旭 信昭
学識経験者	福井大学工学部助教授	野嶋慎二
利用者	北陸高校校長	柏山善英
	福井県連合婦人会副会長	藤井湯美子
	ROBAの会会長	内田桂嗣
経済界	福井商工会議所常務理事	鶴刈信一
	武生商工会議所専務理事	富永昌孝
	鯖江商工会議所専務理事	加藤 修
沿線市町村	福井市副市長	森良一機
	武生市助役	福塚昭雄
	鯖江副市長	若林みや子
事業者	福井鉄道株代表取締役社長	山内和久

2. 議題

- (1) 福武線の利用状況と収支状況について ＝福鉄山内社長＝
鉄道では、5,900万の赤字、乗車人員は約168万人と減少が続いている
乗合バスでは2億9千万の赤字（鉄道より大きい）
鉄道の費用は毎年減少するも収入の減少に追いつかず
- (2) えちぜん鉄道の運行再開と利用促進について ＝えちぜん鉄道支援課＝
これまでの経過と運行開始の日程・活性化のための取組を披露
- (3) 福武線の利用促進策について（これまでの取組状況と成果・今後の取組）
 - ・ 福井市
 - ・ 武生市
 - ・ 鯖江市
 - ・ 福井鉄道線

3. 発言内容（特徴的なもの）

福井市：シンボルマークの作成（シンボルカラー）、共通定期・共通乗車券の発行
乗客 200 万人で採算合うのであればそれに応じた対策が必要
際限ない行政負担はできない
沿線の散策 MAP 作成（小・中学校に配付）したのに続き食のスポットの MAP
（駅を拠点にした）作成予定

武生市：公共交通機関どうしの連携、F&R の推進

鯖江市：市職員の利用促進（フリー回数券の購入）、鯖江の公共交通の活性化を市民
運動として取組む

長期的な視野での計画が必要。利用者を視野に置いたネットワークの確立

福井鉄道：沿線イベントと連携した輸送対応（フェニックスまつり、菊人形）
企画乗車券（家庭の日＝毎月第 3 日曜にワンデーフリー乗車券発売）
鉄道の日（10 月 13 日）記念行事
アンケート調査（運賃、ダイヤ、その他）⇒利用者のニーズ把握
えちぜん鉄道の開業に伴う連携⇒公共交通の後権目指す

北陸高校校長：私学の定員が少ない。県立高校より福井市に集中しているので改善すれば
乗客は増える。道路には利用者は金を払っていない。（税金が使われている）
鉄道にも社会資本として行政負担を。

福井商工会議所：施策にメリハリを。思い切った施策（例えば、ノマカデーにはノコロとか）
マイカー通勤から電車通勤に切替える取組
会社（企業）に働きかけて会社にメリットを与えて電車通勤を促す取組
電車に乗ったことのない人にとりあえず乗ってもらう取組

4. ROBA の会からの提案

さいごに、ROBA の会から、以下の点について提案した。

- (1) ふくいのにのり MAP 作成報告（委員全員に配布）
- (2) LRV 導入を前提とした活性化策『福武線活性化に向けての突破口』
- (3) ワーキンググループの立上げ

※今回の協議会には、ROBA の会会員から以下の方が傍聴に参加されました。

畑、澁水、佐藤、林照、坂川

以上

えちぜん鉄道が動き出しました！

「あっ、動いている！」「たくさんの方が来ている！」が私の第一声です。7月19日（土）のイベントにROBAも参加しました。これが本音です。私たちが出来る限りの応援をしていきたいですね。

- ◆日 時 7月19日（土）10:00～16:00
- ◆場 所 えちぜん鉄道福井口駅南側広場
- ◆参加者 内田、川口、岸本、清水、高橋、経、林ひ、林て、志井、米沢

このイベントもやはり、雨が降らないかなあ？って心配でした。2年振りに「えちぜん鉄道」として再開するのに、雨はないだろう！と、前日から降り出した雨が変になってました。私の他にも名乗りを上げる方がいらっしゃるかと恐れますが、私は晴れ女です。よかった、本当によかったよ預れて。

急遽、このイベントでROBAのブースが設置できることになり、模型電車、当夏短歌集「ジャパニーズ電車ガール」の販売、「のりのりマップ」の販売を、えち鉄さんの切符販売の場でやらせてもらえる事になったのです。

●模型電車は、

米沢さんがえち鉄電車の模型を走らせてくれて、アースディより大盛況でした。人が盛りだくさんいて米沢・清水ペアの番人さんは、気疲れしたと悪みます。今回はさすがにレベルの高い子供達がいっぱいいて、電車がえちぜん鉄道とか京福電車とか、違いが言えてました。「あっ、あれ小浜線！」とか、私たちも分からないような事まで言う子供もいたんです。とにかく、本物の電車に乗るお客さんも模型電車を見つめる目も、保育園が幼稚園までの小さい子供がたくさんで、目をキラキラさせてました。

●のりのりマップは

小学校高学年ぐらいの子供が買いに来てくれて、大きいマップは既に持っていたので、ミニマップを特別価格の100円で買ってもらいました。若いお父さんやお母さんは、相変わらずマップが無料だろう！と思っている人も多く、200円で言うとか結構です、って断る人も結構いました。おじいちゃんやおばあちゃんは関心が高い事も分かったし、既にもってるけど、使い込んで帰ってくるから予備で買っていくよ、という人も来てくれました。電車に理解を示してくれる若いお母さんは買って来て、この日の売り上げ部数は50冊を超えました。（凄い！）

●電車にのりました。

内田さんと林てるさんと3人で、永平寺口までの電車に乗ろうと福井口の駅へ向かいました。寒い！凄すぎる…。ホームから人が溢れてるよ…。こんな光景見たことないよ、ちょっと。これじゃあ、当日の切符が足りなくなるのはしょうがないね。切符が足りなくなっただんですよ、あっちこっちの駅で、そういえば、電車の中でもイベント会場でも私の着ていた「えち鉄↑シャツのブラックタイプ」が欲しいって人がいて、何処に売ってますか？って聞かれたなあ。えち鉄さんも売れば良かった！って後悔してましたけど、グッズ販売のお手伝いはROBAに任せてくれたらよかったかも……。

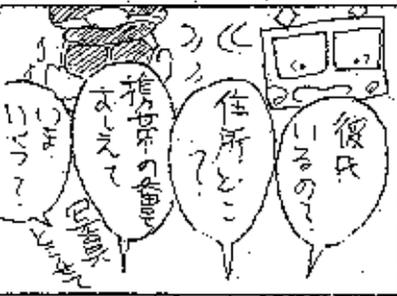
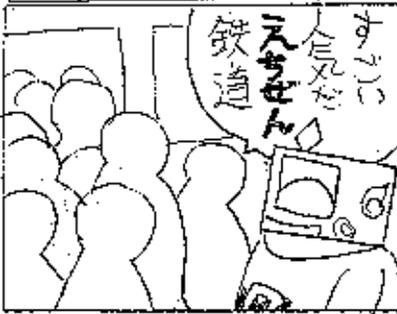
<感想>

今回のこのイベントで、子供達の関心の高さに驚き、えち鉄さんの一生懸命さが強く伝わってきました。私たちえちぜん鉄道さんち、今日のこの日の感動を忘れることなく、これからもがんばっていきます。

（文 はた）



快速!! 路面電車



作…漆崎耕次

第10回まちづくり懇談会の報告

日時：H15年7月9日(水) 19:00~21:50

場所：五十嵐ビル 6F

参加者：ROBA/ 高橋、畑、清水、川口、佐藤、谷村、佐々木、坂川、
内田 まちなか NPO/村北、伊井、吉市、坂井
その他/福井工大4年 古木

議題：福井駅前通り街路整備計画の動向

内容：福井駅前商店街振興組合の想いと福井市の整備計画案の一致が見られず、物別れ状態となっている整備計画ですが、商店街の主張は次の2点です。

福井市の案では活性化できない。

駅前通りは整備した方が良い。

また、次の論点も確認できました。

- ・ネックは電車。平成2年の撤去の要望はそのまま生きている。
- ・市案は車社会の今の状況に対応していない。
- ・とりあえず、線路をめくって、車で溢れる状況になればその時電車の対応をすれば良い。
- ・トランジットモールで活性化は難しい。

ROBAの会との意見交換も多くの回数を重ねてきましたが、今の路面電車を改善し、電車を活かしてまちづくりを進めるべきと考えるROBAにとって、どうしても越えられない垣根を感じてしまいます。

なお、最終結論にはまだ至らず、福井市と最終の詰の交渉が残されています。

次回：7月24日(木) 19:00~ 五十嵐ビル6F

研究発表『駅前・順化地区再生計画に関する私案』

発表者：福井工業大学4年 古木さん

古木さんは卒論テーマに、中心市街地の再生計画を選びました。

その研究の成果を発表していただきます。

(文・内田)

編集後記……編集委員より一言!

林 (編集長)

「もういくつ寝ると……三国芦原線開通」

清水 (副編集長)

「えち鉄快走! 最高です!」

川口 (副編集長)

「サイクルトレインで海へ山へ!」

内田 (発行責任者)

「分科会スタート、皆さん参加してくださいね」

事務局

ふくい路面電車とまちづくりの会

910-8031 福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: homepage2.nifty.com/tram-fuku/